

第1回 中部エネルギー市民会議

—— 会議録(概要版) ——

★ 詳細は、「中部エネルギー市民会議」のホームページに掲載中の映像資料等をご覧ください。

- 日 時： 平成 24 年 3 月 4 日(日) 13：00～16：00 (+30分ほど延長)
■会 場： 名古屋文化短期大学 A館 3階ホール

◆ 1. 中部エネルギー市民会議について

- 萩原 喜之 (地域の未来・志援センター 理事長／呼びかけ人・事務局)
- ・ プロジェクターと配布資料により、設立経緯、現状・課題、目的、実施方法、スケジュール、国の動き、今日どこを議論するのかについて説明した。 ※資料はWebをご参照下さい。

◆ 2. 多様な立場の呼びかけ人 3名から

・ メッセージ

- 今尾 忠之 (中部電力 原子力部・環境部 OB／呼びかけ人・事務局)
 - ・ 中電時代の大半は原子力関係。被告の気持ち。議論の場が必要。今後のエネルギー社会をどうしていくべきかを自分達で決めていかなければならないという認識になって頂きたい…
- 松原 武久 (前名古屋市長／呼びかけ人)
 - ・ 情報公開と専門家からの情報発信、さらに立場の違う者がじっくり考える「熟議」がされることを望む。子どもたちにエネルギー読本を作りたい…
- 水野 翔太 (瑞陵高校2年／学生環境団体 NEO 代表／呼びかけ人)
 - ・ この会議を通して新しい知識を身に付け、自分の意見に自信を持ってもらいたい。若い世代がもっと前に出てもらいたい…

◆ 3. 福島第一原子力発電所の事故原因を探る

・ (政府) 事故調査・検証委員会の中間報告の解説

- 木船 久雄 (名古屋学院大学 学長／呼びかけ人)
 - ※ 以下の内容について説明した。
 - ・ 畑村委員会の要旨
 - ・ 原子力発電所の事故発生状況
 - ・ 放射性物質の拡散と避難
 - ・ 事故後の対応に関する問題点

(原子力災害対策現地本部の問題点)
(原子力対策本部の問題点)
(発電所の問題)
(被害拡大防止に関する問題)

・ 事故以前からの問題点

・ 総括

- 東電、政府とも津波によるシビアアクシデント対策が欠如
- 複合災害という視点の欠如
- 全体像を捉える視点の欠如

・ 各立場からのコメント

○ 鈴木 良隆 (障がい者ヘルパー／呼びかけ人)

- ・ エネルギーの話となると電力が足りない、経済、生活、という話になるが、まず最初に人の命、子供の命を守ることが根本。電力が足りないとか、原発の電気が安いとか、地球温暖化防止になると言われているが、その3つは嘘だと思っている…

○ 中根 桂子 (自然派育児サークル おひさまクラブ発起人／呼びかけ人)

- ・ そもそも原発事故が津波で起こっているとは考えていない。報告は真実とは思っていない。電力会社と政府は全く信用できない。元々原発は要らないという立ち位置。原発が一度事故を起こしたら、暴走して手に負えなくなることは多くの人が予測していた…

○ 伊藤 隆彦 (中部電力 顧問)

- ・ 40年間、原子力発電の現場。国の原子力委員会、原子力政策を担当するところで3年間。永年、原子力をしてきたが、今回の福島事故は大変に残念というか、申し訳ない、そういう思い。少なくとも津波が来るまでは原子炉は停止しているし、冷却もされていた…

○ 松井 恒雄 (中部大学 教授)

- ・ 核燃料工学が専門。原子力安全委員会の審査会メンバー。事故前のリスク管理だけでなく、事故後のアクシデントマネジメントが不足していて、さらにそれを審査する体制も不十分だった。科学技術のトラブルに科学者が満足に対応できない状況がある…

○ 飯尾 歩 (中日新聞 論説委員／呼びかけ人)

- ・ 反対派と言われる人には推進派と言われ、推進派と言われる人には反対派と言われる。0か1かではない。だからこそみんなで話し合わなければいけない。飯館村の方の話。大量生産、大量消費で作られてきた日本経済のスピードを緩めてみよう…

◆ 4. 参加者意見出し (休憩をかねて)

- ・ 参加者の皆さんに、下記の4つのテーマについてポストイットに書いてボードに貼り付けてもらった。

- ① 事故原因について
- ② 今後、中エネ会議で議論したいこと（思い、不安、疑問、意見など）
- ③ 中エネ会議への期待
- ④ その他

◆ 5. 会場全体で、質問・意見交換

・ 進行

- 水谷 香織（パブリック・ハーツ 代表／合意形成 専門家／呼びかけ人・事務局）

- ・ 安心して子供を産み育てられる社会にするために自分に出来ることをしたい。

- 佐藤 慎一（名古屋市教員組合 執行委員長／呼びかけ人）

- ・ 教師がしなければならない事は、子供達に知識を教え込む事ではなく、子供達に考える力を身につけさせること。自分の考えと他者の考えが違う時、なぜ相手がそういう考えを持っているのかを理解する力を身につけさせたい…

- ・ 意見交換 ※26件の意見交換が行なわれた。

◆ 6. クロージング

・ 呼びかけ人からのメッセージ

- 竹内 恒夫（名古屋大学大学院 環境学研究科 教授／呼びかけ人）

- ※ 意見交換時に充分発言したものと進行役が判断し省略。

- 小川 弘（日本エヌ・ユー・エス 顧問／気象専門／呼びかけ人）

- ・ 気象協会から退職後、日本エネルギーの会社に勤めている。活発な意見をありがとうございます。このような会議を何回も続けて行きたいのでよろしくお願いします。

- 清水 哲太（トヨタ自動車 顧問／トヨタホーム 顧問／呼びかけ人）

- ・ 最後にコメントする破目になったが、今まで黙って聞いていましたが大変面白い。ただ今日の議論を聞いていると、わりあい自分の持っている知識の中での判断、あるいは意見と言うのが、かなり多かった様に思いました…

・ 事務局から連絡事項

- 庄司 知教（中部リサイクル運動市民の会 職員／呼びかけ人・事務局）

- ・ 裏方を担っている。事務連絡のみ。アンケートの記入と、人・物・金・情報に関するご協力をお願いします。次回の開催時間や会場などは、ホームページをのぞいて下さい。

以上